



## 亀山市気候非常事態宣言

近年、世界各地で気候変動に伴う自然災害が多発しており、その原因の一つは地球温暖化にあると言われていています。国内においても巨大化する台風、局地的集中豪雨や記録的猛暑などに見舞われ、甚大な被害が発生しています。このまま地球温暖化の進行を放置すれば、近い将来、生態系や社会がさらに過酷な気候変動の影響を受けることになります。

国際社会は、パリ協定において、世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて1.5℃に抑制することを目標に、温室効果ガス排出量を2030年度には2013年度比で46%削減、2050年までに実質ゼロの実現を目指しています。

この目標を達成するためには、私たちは、この危機的な状況を認識し、国際社会の一員としての責務を果たすため、災害対策に取り組みつつ、地球温暖化を防止し、気候変動を緩和するための行動を起こさなければなりません。

亀山市は、ここに気候非常事態を宣言し、持続可能な社会を実現するため、以下の取り組みを進めていきます。

- 1 ゼロカーボンシティの実現に向け、「2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロ」を目指します。
- 2 私たちに多くの恵みをもたらす生物多様性の保全に向けた取り組みを戦略的に進めていきます。
- 3 環境への負荷の少ない持続発展可能な社会を実現するため、4Rの推進に取り組みます。

令和5年7月10日

亀山市長 櫻井義之